

世界8資産ファンド

[安定コース・分配コース・成長コース]
＜愛称：世界組曲＞

追加型投信／内外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の8つの資産（国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リートおよび海外リート）にバランスよく分散投資を行い、安定的な投資成果を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年5月9日～2025年11月10日

第39期		決算日：2025年11月10日	
		安定コース	成長コース
第39期末 (2025年11月10日)	基準価額	14,101円	19,168円
	純資産総額	2,902百万円	5,516百万円
第39期	騰落率	9.1%	19.8%
	分配金合計	120円	195円
第227期	決算日：2025年6月9日	第230期	決算日：2025年9月8日
第228期	決算日：2025年7月8日	第231期	決算日：2025年10月8日
第229期	決算日：2025年8月8日	第232期	決算日：2025年11月10日
		分配コース	
第232期末 (2025年11月10日)	基準価額	12,065円	
	純資産総額	16,123百万円	
第227期～ 第232期	騰落率	11.2%	
	分配金合計	90円	

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用の概要

- (1) 「世界8資産ファンド 安定コース」、「世界8資産ファンド 分配コース」、「世界8資産ファンド 成長コース」の各ファンドは、「国内債券マザーファンド」、「海外債券マザーファンド」、「エマージング債券マザーファンド」、「国内株式マザーファンド」、「海外株式マザーファンド」、「エマージング株式マザーファンド」、「国内リートマザーファンド」、「海外リートマザーファンド」の各受益証券への投資を通じて、国内、海外およびエマージング諸国の各債券、国内、海外およびエマージング諸国の各株式、国内および海外の各不動産投資信託証券（リート）に実質的に投資します。
- (2) 各ファンドにおける各マザーファンドへの配分比率は以下を基本（これを「基本配分比率」といいます。）とします。

【各コースの基本配分比率】

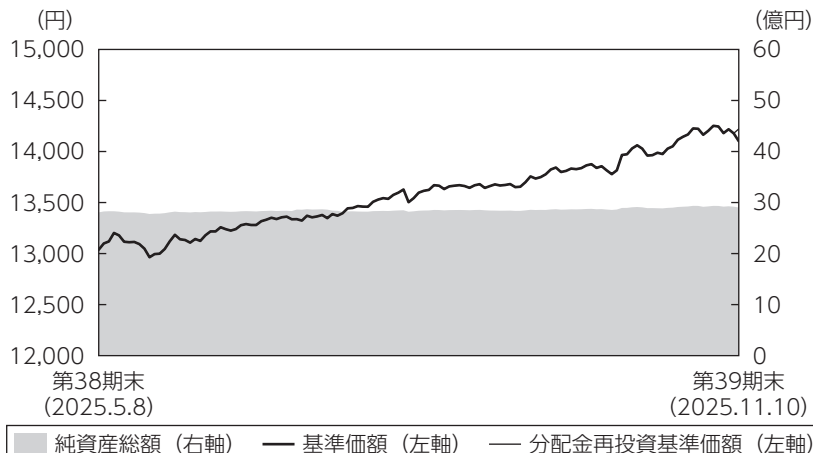
資産／各コース	安定コース	分配コース	成長コース
国内債券	40%	20%	5%
海外債券	15%	30%	5%
エマージング債券	5%	10%	10%
国内株式	10%	5%	35%
海外株式	5%	10%	15%
エマージング株式	5%	5%	10%
国内リート	10%	5%	10%
海外リート	10%	15%	10%

資産	実質的な投資をするマザーファンド	各マザーファンドのベンチマーク
国内債券	国内債券マザーファンド	NOMURA-BPI 総合
海外債券	海外債券マザーファンド	FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
エマージング債券	エマージング債券マザーファンド	JPMORGAN・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
国内株式	国内株式マザーファンド	TOPIX（配当込み）
海外株式	海外株式マザーファンド	MSCI-KOKUSAI 指数（グロス配当再投資込み、円ベース・為替ヘッジなし）
エマージング株式	エマージング株式マザーファンド	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
国内リート	国内リートマザーファンド	東証REIT指数（配当込み）
海外リート	海外リートマザーファンド	S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）

運用経過の説明

■ 世界8資産ファンド 安定コース

■ 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドを通じて、国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リート及び海外リートの8つの資産に投資を行った結果、国内債券を除いた全資産が上昇となり、基準価額は上昇しました。

[組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

組入ファンド	騰落率
国内債券マザーファンド	△1.5%
海外債券マザーファンド	10.2%
エマージング債券マザーファンド	18.6%
国内株式マザーファンド	27.0%
海外株式マザーファンド	20.5%
エマージング株式マザーファンド	30.1%
国内リートマザーファンド	18.4%
海外リートマザーファンド	11.3%

1 万口当たりの費用明細

項目	第39期		項目の概要
	(2025年5月9日 ～2025年11月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	76円	0.560%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,584円です。
（投信会社）	(38)	(0.280)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(34)	(0.252)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(4)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.030	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
（株式）	(2)	(0.015)	
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
（投資信託受益証券）	(0)	(0.001)	
（投資証券）	(2)	(0.015)	
(c) 有価証券取引税	1	0.006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(1)	(0.004)	
（投資信託受益証券）	(0)	(0.000)	
（投資証券）	(0)	(0.002)	
(d) その他費用	5	0.036	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.031)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.004)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	86	0.632	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

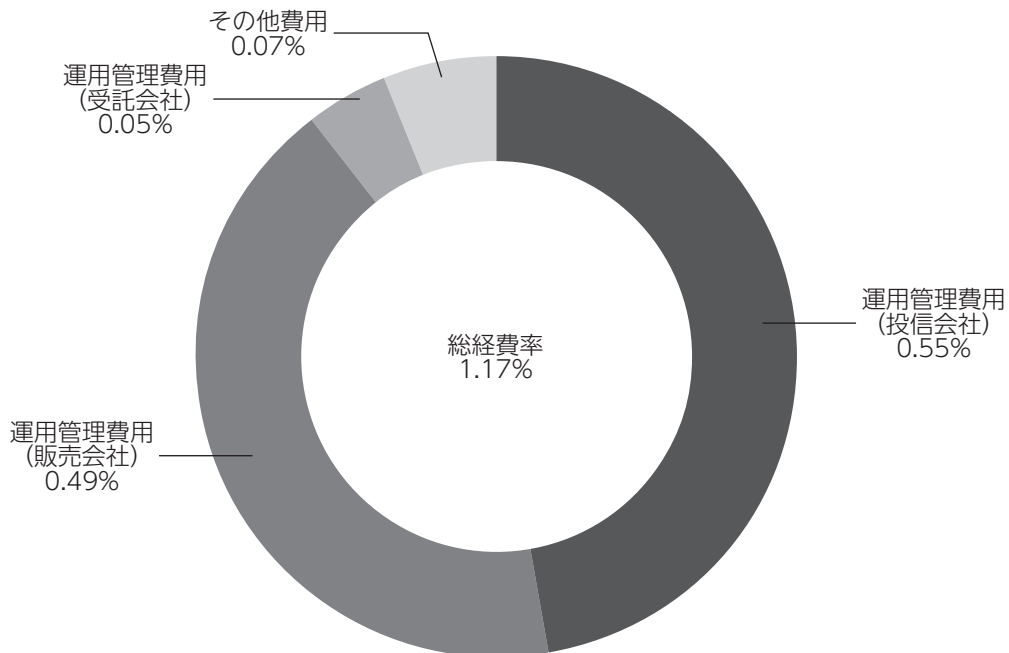
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。



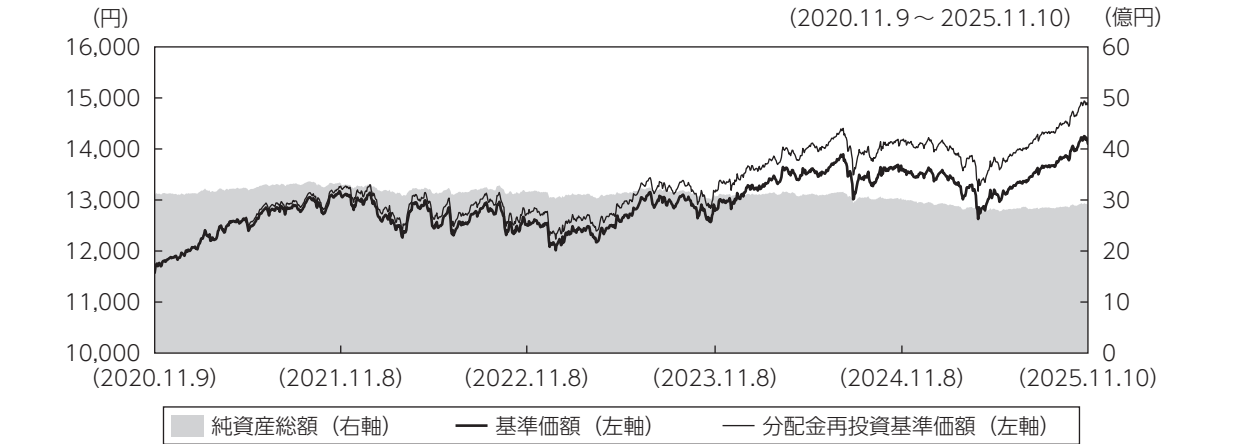
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



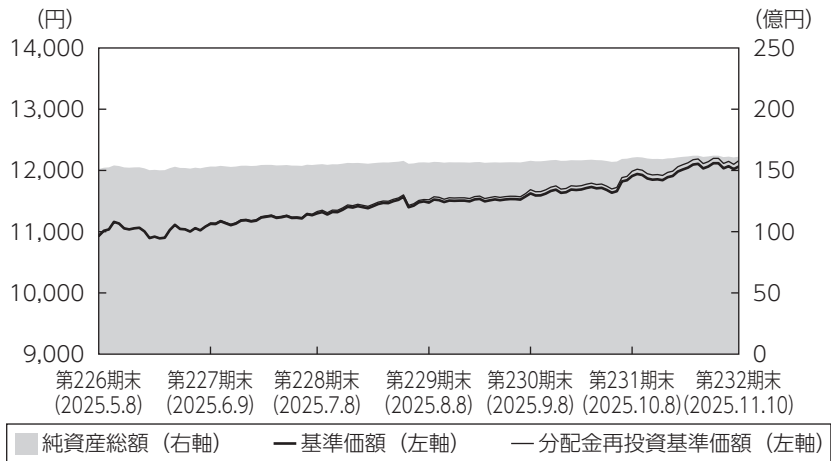
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2020年11月9日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年11月9日 期首	2021年11月8日 決算日	2022年11月8日 決算日	2023年11月8日 決算日	2024年11月8日 決算日	2025年11月10日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	11,574	13,117	12,505	12,789	13,579	14,101
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	150	80	130	190	185
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	14.7	△4.1	3.3	7.7	5.3
参考指数の騰落率 (%)	—	14.8	△1.8	4.7	9.7	7.2
純資産総額 (百万円)	3,082	3,327	3,154	3,064	3,000	2,902

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。各マザーファンドのベンチマークについては、後掲の＜当ファンドが組み入れているマザーファンドのベンチマークについて＞をご参照ください。
- (注2) 参考指数は当ファンドが投資対象とする各マザーファンドのベンチマークの日次リターンデータをもとに、各マザーファンドへの基本配分比率の割合で当社が独自に算出しております（以下同じ）。

■ 世界8資産ファンド 分配コース

■ 基準価額等の推移



第227期首： 10,931円
第232期末： 12,065円
(既払分配金90円)
騰 落 率： 11.2%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドを通じて、国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リート及び海外リートの8つの資産に投資を行った結果、国内債券を除いた全資産が上昇となり、基準価額は上昇しました。

[組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

組入ファンド	騰落率
国内債券マザーファンド	△1.5%
海外債券マザーファンド	10.2%
エマージング債券マザーファンド	18.6%
国内株式マザーファンド	27.0%
海外株式マザーファンド	20.5%
エマージング株式マザーファンド	30.1%
国内リートマザーファンド	18.4%
海外リートマザーファンド	11.3%

1 万口当たりの費用明細

項目	第227期～第232期		項目の概要
	(2025年5月9日 ～2025年11月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	71円	0.616%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,478円です。
（投信会社）	(35)	(0.308)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(32)	(0.280)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(3)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.031	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
（株式）	(1)	(0.012)	
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
（投資信託受益証券）	(0)	(0.001)	
（投資証券）	(2)	(0.018)	
(c) 有価証券取引税	1	0.006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.004)	
（投資信託受益証券）	(0)	(0.000)	
（投資証券）	(0)	(0.002)	
(d) その他費用	5	0.047	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(5)	(0.041)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.003)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	80	0.700	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

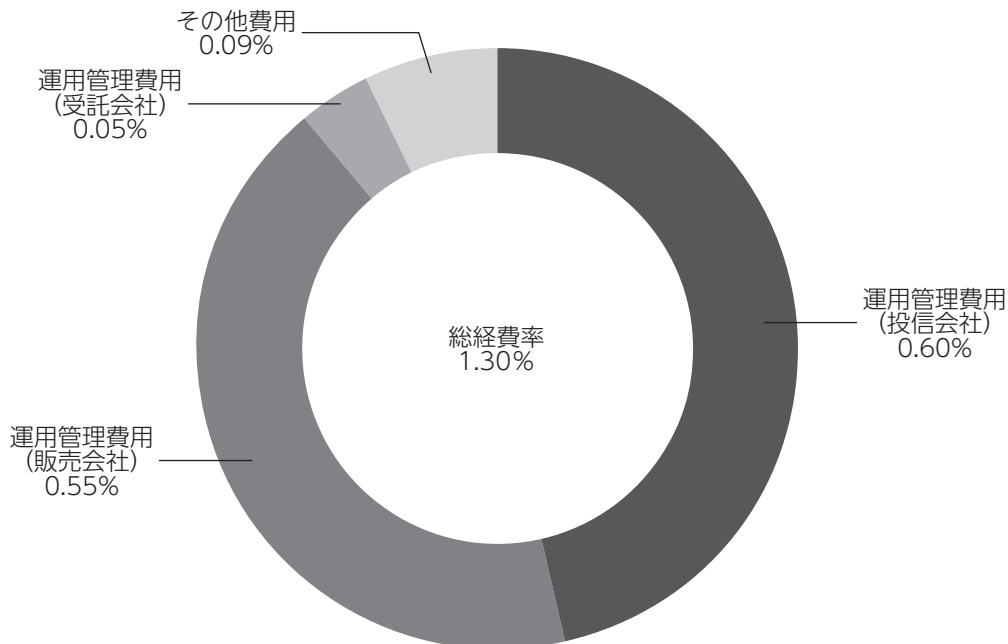
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.30%です。



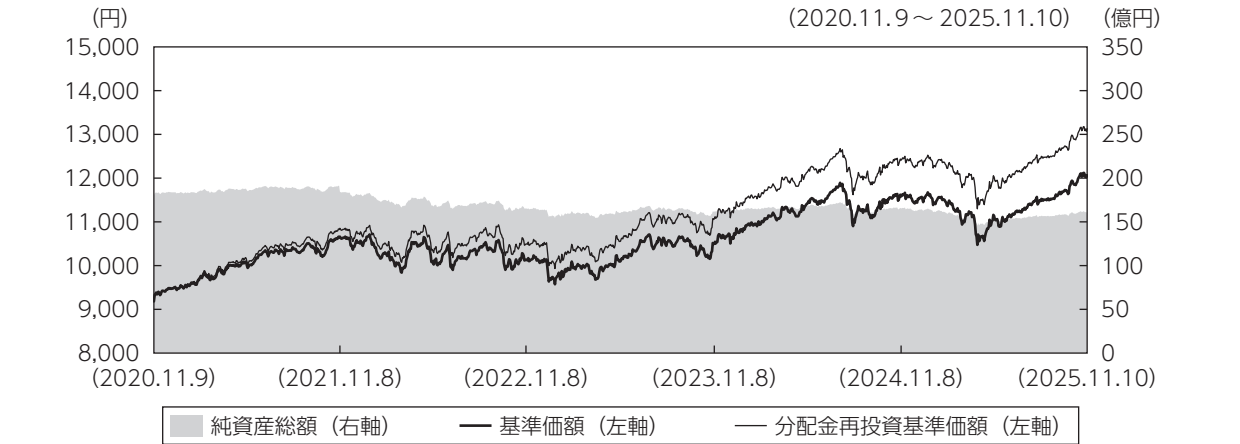
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



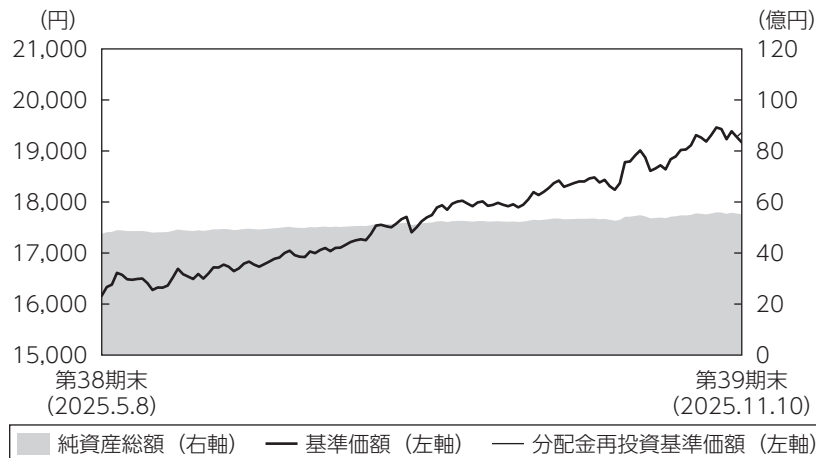
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2020年11月9日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年11月9日 期首	2021年11月8日 決算日	2022年11月8日 決算日	2023年11月8日 決算日	2024年11月8日 決算日	2025年11月10日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	9,182	10,661	10,129	10,497	11,582	12,065
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	180	180	180	180	180
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	18.2	△3.3	5.5	12.1	5.8
参考指数の騰落率 (%)	—	18.7	△0.5	7.2	14.4	8.6
純資産総額 (百万円)	18,007	18,446	16,519	16,155	16,535	16,123

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。各マザーファンドのベンチマークについては、後掲の＜当ファンドが組み入れているマザーファンドのベンチマークについて＞をご参照ください。
- (注2) 参考指数は当ファンドが投資対象とする各マザーファンドのベンチマークの日次リターンデータをもとに、各マザーファンドへの基本配分比率の割合で当社が独自に算出しております (以下同じ)。

■ 世界8資産ファンド 成長コース

■ 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドを通じて、国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リート及び海外リートの8つの資産に投資を行った結果、国内債券を除いた全資産が上昇となり、基準価額は上昇しました。

[組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

組入ファンド	騰落率
国内債券マザーファンド	△1.5%
海外債券マザーファンド	10.2%
エマージング債券マザーファンド	18.6%
国内株式マザーファンド	27.0%
海外株式マザーファンド	20.5%
エマージング株式マザーファンド	30.1%
国内リートマザーファンド	18.4%
海外リートマザーファンド	11.3%

1 万口当たりの費用明細

項目	第39期		項目の概要
	(2025年5月9日 ～2025年11月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	119円	0.673%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は17,681円です。
(投信会社)	(59)	(0.336)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(55)	(0.308)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(5)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	10	0.058	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(8)	(0.043)	
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.001)	
(投資証券)	(3)	(0.014)	
(c) 有価証券取引税	2	0.010	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(1)	(0.008)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.002)	
(d) その他費用	11	0.059	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(9)	(0.051)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(1)	(0.007)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	141	0.800	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

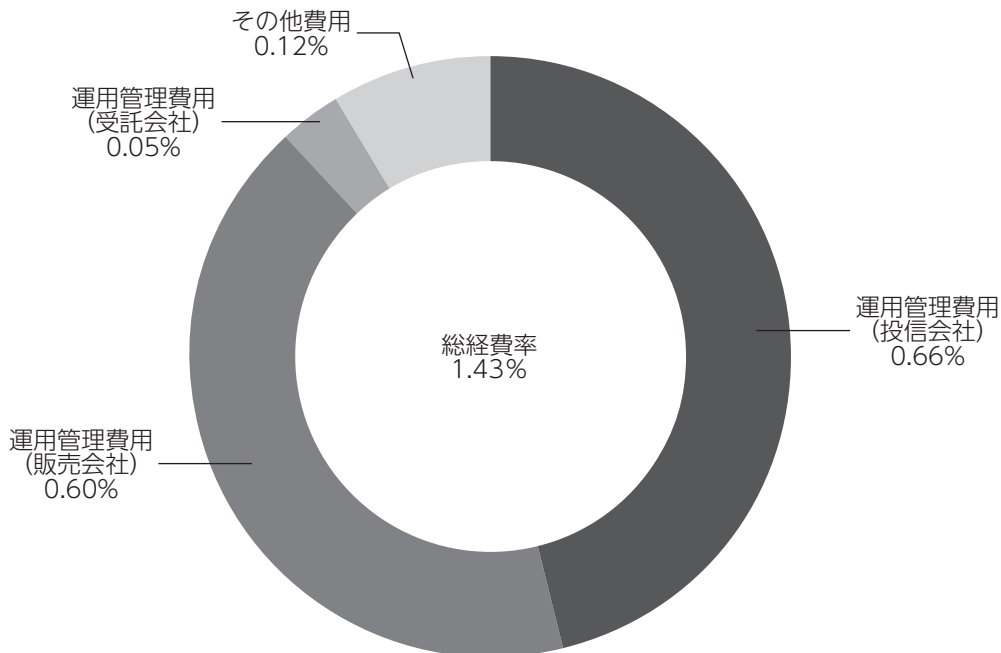
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.43%です。



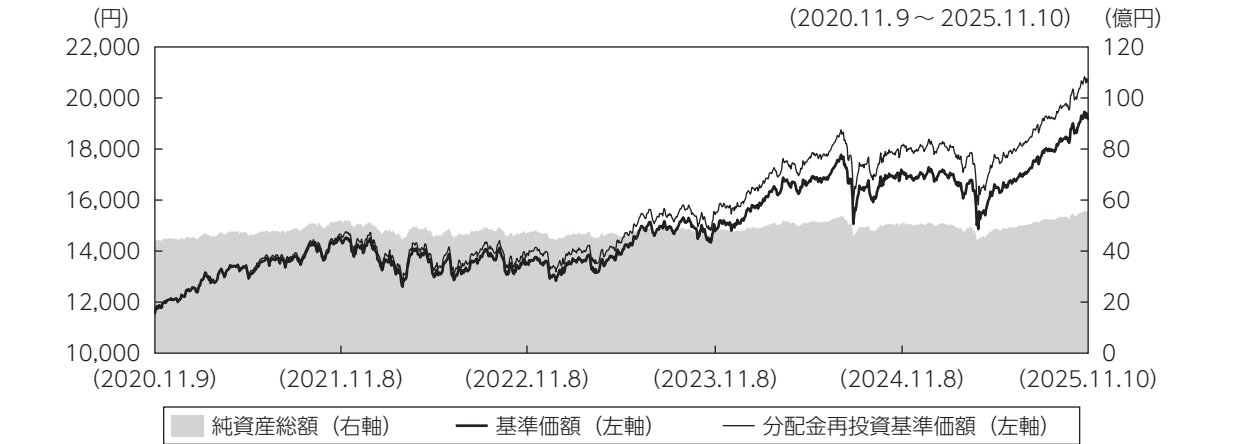
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2020年11月9日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年11月9日 期首	2021年11月8日 決算日	2022年11月8日 決算日	2023年11月8日 決算日	2024年11月8日 決算日	2025年11月10日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	11,559	14,430	13,543	14,784	17,050	19,168
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	220	150	235	315	300
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	26.8	△5.1	10.9	17.5	14.3
参考指数の騰落率 (%)	—	27.3	△0.5	13.2	20.9	18.0
純資産総額 (百万円)	4,331	5,168	4,718	4,715	5,076	5,516

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。各マザーファンドのベンチマークについては、後掲の＜当ファンドが組み入れているマザーファンドのベンチマークについて＞をご参照ください。
- (注2) 参考指数は当ファンドが投資対象とする各マザーファンドのベンチマークの日次リターンデータをもとに、各マザーファンドへの基本配分比率の割合で当社が独自に算出しております (以下同じ)。

■ 世界8資産ファンド [安定コース・分配コース・成長コース]

■ 投資環境

● 国内債券市況

国内債券市場は、NOMURA-BPI総合（以下、ベンチマーク）で見ると、2.0%下落しました。作成期首1.325%で始まった新発10年国債利回りは、米国の関税政策による経済不確実性が徐々に後退するなか、堅調な物価動向を背景に日銀の追加利上げ期待が高まることで緩やかに上昇し、1.695%で作成期末を迎えました。

● 海外債券市況

米国10年国債利回りは、米雇用統計が過去分の大幅下方修正されるなど労働市場の減速を示唆する内容となり、FOMC（米連邦公開市場委員会）が利下げを再開したことや、米政府機関閉鎖に対する懸念などから前作成期末対比低下しました。ドイツ10年国債利回りは、ドイツの大規模な財政拡張政策に伴う懸念やECB（欧州中央銀行）による利下げ期待後退から上昇した後に米国の金利低下に連れて上昇幅を縮小しましたが、前作成期末対比では上昇しました。

● エマージング債券市況

新興国債券市場は、上昇しました。5月に米中貿易交渉の進展により関税が大幅に引き下がったことや7月に米国とEUの関税交渉が妥結したことなどから、投資家のリスク選好姿勢が高まり、上昇しました。その後、米国の雇用統計が労働市場の減速を示し、FRB（米連邦準備理事会）の利下げが実施されたことなどから、作成期末にかけても上昇基調となりました。

● 国内株式市況

作成期前半は、中東情勢への懸念後退や米国の利下げ期待の高まりなどもあり、堅調に推移しました。作成期末にかけては、日米関税交渉の決着により先行き不透明感が後退したことや石破首相の辞任表明を受けて次期総裁候補による財政政策などへの期待感から上昇しました。

●海外株式市況

外国株式市場は上昇しました。作成期前半は米国の景気鈍化に対する懸念がある一方で、米国の貿易関税に対する各国の交渉が進展したことや、米国のトランプ減税に対する期待から株価は上昇基調で推移しました。作成期後半にはA I 関連銘柄の高いバリュエーションや過度な設備投資に対して懸念が生じる局面もありましたが、堅調な企業業績や米国の利下げを受けて、株価は上昇し作成期末を迎えました。

●エマージング株式市況

新興国株式市場は上昇しました。各国の米国との通商協議の進展、中国の政策による国内産業の活性化期待、好調な企業業績やA I 関連の設備投資増加を背景とした成長期待の高まりなどから、概ね作成期を通じて上昇が続きました。中東情勢の緊迫化や、米中貿易摩擦懸念などから一時的に下落する局面があったものの、いずれも懸念は短期的に収束しました。

●国内リート市況

国内リート市場は上昇しました。作成期首から日銀の追加利上げ観測が後退したことなどが好感され上昇しました。その後も、投資信託への資金流入など良好な需給環境を背景に上昇基調となりました。作成期末にかけても、自民党総裁選後に政局不透明感が後退する中、決算で賃料増額を伴った増配計画を示した銘柄や自己投資口買いを発表した銘柄が評価され上昇しました。

●海外リート市況

作成期初には、トランプ政権と他国との貿易交渉が進展し、徐々に落ち着きを取り戻す動きとなりました。夏場にはE C B の利下げ停止観測から上値の重い状態となったものの、米雇用市場の軟化からF R B の利下げ期待が強まると、徐々に値を上げる展開となりました。10月上旬に米政府機関の一時閉鎖や米中貿易摩擦の再燃などで値を下げたほか、下旬に米国のヘルスケア銘柄が業績見通しを引き下げたことで下落する場面もあったものの、作成期間を通じて上昇基調となりました。

●為替市況

為替市場では、米ドル・ユーロともに前作成期末対比対円で上昇しました。
米ドルは、F R B が9月に利下げを実施したものの、パウエル議長が12月の利下げは既定路線でないとの見方を示したことや、日本の財政政策への懸念や日銀追加利上げ観測の後退などから上昇しました。ユーロは、E C B が2会合連続で政策金利を据え置き、今後の利下げ観測が後退したことなどから上昇しました。

ポートフォリオについて

●世界8資産ファンド 安定コース

期を通じて、国内債券マザーファンド受益証券、海外債券マザーファンド受益証券、エマージング債券マザーファンド受益証券、国内株式マザーファンド受益証券、海外株式マザーファンド受益証券、エマージング株式マザーファンド受益証券、国内リートマザーファンド受益証券及び海外リートマザーファンド受益証券への投資を行いました。

各マザーファンド受益証券の組入れについては、期を通じて概ね基本配分比率に合わせて分散投資し、その組入比率の合計を高位に維持しました。

為替については、期を通じて実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行っておりません。

〔マザーファンド別組入比率〕

(単位：％)

マザーファンド名	期首組入比率	期末組入比率
国内債券マザーファンド	39.4	37.6
海外債券マザーファンド	14.9	15.1
エマージング債券マザーファンド	4.9	5.6
国内株式マザーファンド	9.9	10.1
海外株式マザーファンド	4.6	5.0
エマージング株式マザーファンド	4.8	5.0
国内リートマザーファンド	10.5	10.0
海外リートマザーファンド	9.5	10.2
その他	1.5	1.3

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

●世界8資産ファンド 分配コース

作成期を通じて、国内債券マザーファンド受益証券、海外債券マザーファンド受益証券、エマージング債券マザーファンド受益証券、国内株式マザーファンド受益証券、海外株式マザーファンド受益証券、エマージング株式マザーファンド受益証券、国内リートマザーファンド受益証券及び海外リートマザーファンド受益証券への投資を行いました。

各マザーファンド受益証券の組入れについては、作成期を通じて概ね基本配分比率に合わせて分散投資し、その組入比率の合計を高位に維持しました。

為替については、作成期を通じて実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行っておりません。

【マザーファンド別組入比率】

(単位：％)

マザーファンド名	作成期首組入比率	作成期末組入比率
国内債券マザーファンド	19.3	17.8
海外債券マザーファンド	29.5	30.0
エマージング債券マザーファンド	10.6	11.0
国内株式マザーファンド	5.0	5.0
海外株式マザーファンド	9.7	10.2
エマージング株式マザーファンド	5.0	4.9
国内リートマザーファンド	5.0	4.9
海外リートマザーファンド	14.6	15.2
その他	1.2	1.1

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

●世界8資産ファンド 成長コース

期を通じて、国内債券マザーファンド受益証券、海外債券マザーファンド受益証券、エマージング債券マザーファンド受益証券、国内株式マザーファンド受益証券、海外株式マザーファンド受益証券、エマージング株式マザーファンド受益証券、国内リートマザーファンド受益証券及び海外リートマザーファンド受益証券への投資を行いました。

各マザーファンド受益証券の組入れについては、期を通じて概ね基本配分比率に合わせて分散投資し、その組入比率の合計を高位に維持しました。

為替については、期を通じて実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行っておりません。

【マザーファンド別組入比率】

(単位：％)

マザーファンド名	期首組入比率	期末組入比率
国内債券マザーファンド	4.5	4.2
海外債券マザーファンド	4.8	4.5
エマージング債券マザーファンド	10.2	10.5
国内株式マザーファンド	34.9	35.9
海外株式マザーファンド	14.8	14.9
エマージング株式マザーファンド	10.4	9.9
国内リートマザーファンド	9.1	9.3
海外リートマザーファンド	10.1	9.6
その他	1.2	1.1

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

●国内債券マザーファンド

金利戦略は金利上昇を見込み、修正デュレーション（金利感応度）をベンチマーク対比短期化とする戦略を継続しました。残存年限別構成戦略は、残存 5 年～20 年ゾーンのアンダーウェイトを基本としました。種別構成戦略は、事業債のオーバーウェイトを維持しました。また、債券組入比率は高位を維持しました。

作成期末：2025年11月10日

作成期末		
	ファンド	ベンチマーク
平均クーポン	0.88%	0.93%
最終利回り	1.55%	1.66%
残存年数	8.07年	10.22年
修正デュレーション	6.89	8.12

（注）ファンドの各値は、組入債券の評価額合計を基に加重平均した値です。

●海外債券マザーファンド

ポートフォリオ全体の修正デュレーションは、ベンチマーク対比デュレーションロングを中心に、局面に応じてショートを構築しました。国別のデュレーション戦略は、米国はオーバーウェイトを中心に局面に応じてアンダーウェイトとしたほか、豪州ではオーバーウェイト、ユーロ圏はアンダーウェイトとしました。通貨別配分は、米ドルをアンダーウェイトからオーバーウェイトとし、ユーロはオーバーウェイトからアンダーウェイトとし、豪ドルのオーバーウェイトを維持しました。

作成期末：2025年11月10日

作成期末		
	ファンド	ベンチマーク
平均クーポン	3.00%	2.94%
最終利回り	3.44%	3.34%
平均残存期間	8.55年	8.13年
修正デュレーション	6.78	6.28

（注）ファンドの各値は、組入債券の評価額合計を基に加重平均した値です。

●エマージング債券マザーファンド

世界のエマージング諸国の公社債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指しました。

国別配分は、メキシコ、ルーマニアの組入比率を引き上げた一方、パキスタン、ヨルダンを引き下げました。

作成期末：2025年11月10日

作成期末	
	ファンド
平均クーポン	5.8%
最終利回り	53.9%
平均残存期間	13.6年
修正デュレーション	8.2

(注) ファンドの各値は、組入債券の評価額合計を基に加重平均した値です。

●国内株式マザーファンド

中長期的に企業価値が高まっていく企業群で、且つバリュエーション面でも魅力が高いと見込まれる企業への選別投資をしていくことでベンチマーク対比での超過収益獲得に努めました。主な購入銘柄は、東京海上ホールディングス、第一三共、三菱電機などです。一方で、当面の業績動向が相対的に見劣りすると予想される銘柄や株価が上昇した銘柄などを売却しました。主な売却銘柄は、T & Dホールディングス、三井不動産、花王などです。

作成期末：2025年11月10日

〔組入上位10業種〕

(単位：%)

作成期末		
順位	業種	比率
1	電気機器	25.3
2	情報・通信業	9.9
3	銀行業	8.8
4	卸売業	6.1
5	機械	6.0
6	輸送用機器	5.5
7	化学	4.2
8	建設業	4.1
9	非鉄金属	4.1
10	小売業	3.4

(注1) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 業種は東証33業種分類です。

●海外株式マザーファンド

日本を除く世界の先進国の株式市場を主たる投資対象とし、各国のファンダメンタルズ分析に基づく国別投資魅力度の分析ならびに個別企業の投資価値判断を行い、中・長期的に投資魅力が高いと判断される銘柄に投資しました。各国の景気や金融政策、企業業績や政治リスクの動向等を見極めつつ、銘柄入替や保有比率調整を実施しました。セクター別では、情報技術セクターの比率を高め維持しました。

作成期末：2025年11月10日

〔業種別上位10業種〕 (単位：％)

作成期末		
順位	業種	比率
1	半導体・半導体製造装置	12.9
2	ソフトウェア・サービス	10.8
3	一般消費財・サービス流通・小売り	10.4
4	資本財	10.1
5	メディア・娯楽	9.8
6	銀行	8.0
7	金融サービス	6.5
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.3
9	ヘルスケア機器・サービス	6.1
10	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	4.3

(注1) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) 業種は世界産業分類基準です。

●エマージング株式マザーファンド

個別銘柄の売買などの結果、国別配分では韓国などの組入比率が上昇した一方、インドなどの組入比率が低下しました。業種配分では情報技術などの組入比率が上昇した一方、公益および生活必需品などの組入比率が低下しました。株式の組入比率は高位を維持しました。組入外貨建資産に対して為替ヘッジは行いませんでした。

作成期末：2025年11月10日

〔国・地域別上位10ヵ国〕

(単位：％)

作成期末		
順位	国・地域名	比率
1	台湾	19.6
2	ケイマン諸島	16.1
3	インド	14.0
4	中国	12.5
5	韓国	10.2
6	ブラジル	5.3
7	サウジアラビア	3.7
8	南アフリカ	2.7
9	メキシコ	2.2
10	シンガポール	1.4

〔組入上位10銘柄〕

(単位：％)

作成期末				
順位	銘柄	国・地域名	業種	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾	半導体・半導体製造装置	9.3
2	TENCENT HOLDINGS LTD	ケイマン諸島	メディア・娯楽	6.3
3	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	ケイマン諸島	一般消費財・サービス流通・小売り	5.0
4	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.2
5	ASE TECHNOLOGY HOLDING CO LTD	台湾	半導体・半導体製造装置	3.1
6	MEDIATEK INC	台湾	半導体・半導体製造装置	2.1
7	HON HAI PRECISION INDUSTRY	台湾	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.9
8	CHINA CONSTRUCTION BANK	中国	銀行	1.8
9	SAMSUNG ELECTRONICS-PFD	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.5
10	STATE BANK OF INDIA LTD	インド	銀行	1.4

(注1) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 業種は世界産業分類基準です。

〔業種別上位10業種〕

(単位：％)

作成期末		
順位	業種	比率
1	銀行	15.3
2	半導体・半導体製造装置	14.5
3	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	11.5
4	メディア・娯楽	6.8
5	一般消費財・サービス流通・小売り	6.5
6	金融サービス	5.3
7	資本財	4.8
8	電気通信サービス	3.8
9	素材	3.8
10	公益事業	3.2

●国内リートマザーファンド

分配金と資産価値の成長性、J－R E I T 価格の割安性などを重視して銘柄間のウェイト調整を行いました。具体的には、収益の改善を期待し、森トラストリート投資法人などを購入しました。一方で、分配金の成長鈍化を懸念し、ラサールロジポート投資法人などの一部売却を行いました。組入比率は高位を維持しました。

作成期末：2025年11月10日

【組入上位10銘柄】 (単位：％)

作成期末		
順位	銘柄	比率
1	KDX不動産投資法人	10.1
2	野村不動産マスターファンド投資法人	9.3
3	日本都市ファンド投資法人	8.0
4	G L P 投資法人	7.4
5	アドバンス・レジデンス投資法人	5.9
6	ジャパンリアルエステイト投資法人	5.7
7	大和証券オフィス投資法人	4.2
8	日本ロジスティクスファンド投資法人	3.7
9	ラサールロジポート投資法人	3.3
10	日本プライムリアルティ投資法人	3.1

(注) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

●海外リートマザーファンド

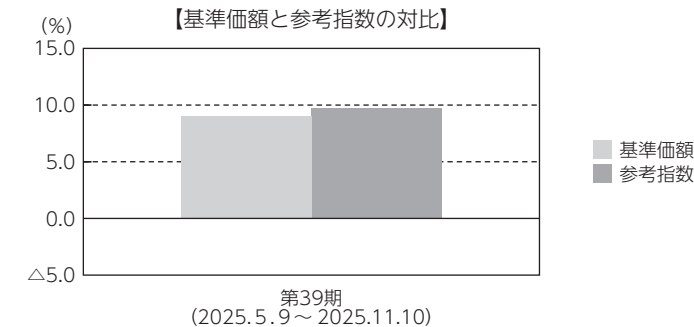
北米では、オフィス銘柄や産業用銘柄などの銘柄を中心に投資を行いました。欧州では、フランスの小売施設などに投資を行い、アジア・オセアニア地域では、オーストラリアの産業用銘柄などを選別して投資しました。

リート組入比率は高位を維持しました。為替ヘッジは行いませんでした。

■ 世界8資産ファンド 安定コース

■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

■ 分配金

当期の収益分配金は、利子・配当等収益等の水準、基準価額的水準および市場動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2025年5月9日 ～2025年11月10日
当期分配金（税引前）	120円
対基準価額比率	0.84%
当期の収益	120円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	4,110円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

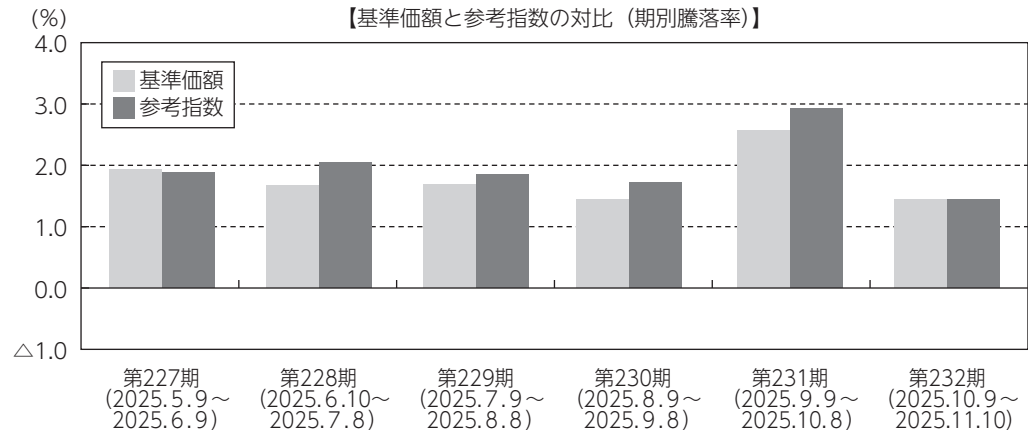
(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

世界8資産ファンド 分配コース

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当作成期の収益分配金は、安定した分配を継続的に行うことを目指し、利子・配当等収益等の水準、基準価額の水準および市場動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第227期	第228期	第229期	第230期	第231期	第232期
	2025年5月9日 ～2025年6月9日	2025年6月10日 ～2025年7月8日	2025年7月9日 ～2025年8月8日	2025年8月9日 ～2025年9月8日	2025年9月9日 ～2025年10月8日	2025年10月9日 ～2025年11月10日
当期分配金（税引前）	15円	15円	15円	15円	15円	15円
対基準価額比率	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.12%
当期の収益	15円	15円	15円	15円	15円	15円
当期の収益以外	－円	－円	－円	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	2,337円	2,352円	2,357円	2,368円	2,419円	2,575円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

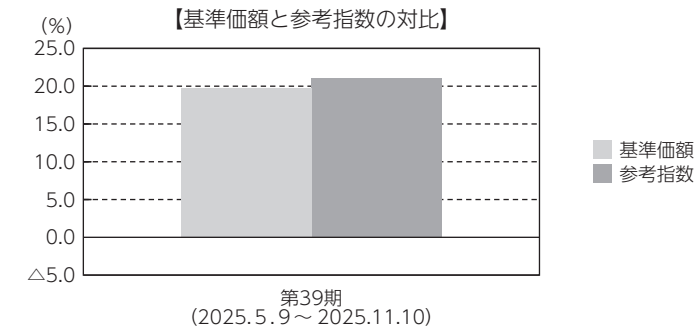
(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

■ 世界8資産ファンド 成長コース

■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

■ 分配金

当期の収益分配金は、利子・配当等収益等の水準、基準価額的水準および市場動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2025年5月9日 ～2025年11月10日
当期分配金（税引前）	195円
対基準価額比率	1.01%
当期の収益	195円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	9,754円

- (注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
- (注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。
- (注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●世界8資産ファンド 安定コース

当ファンドの運用方針に従い、各マザーファンド受益証券への投資を通じて、内外の公社債、株式及び不動産投資信託証券に投資を行い、信託財産の安定的な成長を目指します。引き続き、各マザーファンド受益証券への投資配分については、基本配分比率を目処に投資を行います。また、実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行わない方針です。

●世界8資産ファンド 分配コース

当ファンドの運用方針に従い、各マザーファンド受益証券への投資を通じて、内外の公社債、株式及び不動産投資信託証券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指します。引き続き、各マザーファンド受益証券への投資配分については、基本配分比率を目処に投資を行います。また、実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行わない方針です。

●世界8資産ファンド 成長コース

当ファンドの運用方針に従い、各マザーファンド受益証券への投資を通じて、内外の公社債、株式及び不動産投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長と安定した収益の確保を目指します。引き続き、各マザーファンド受益証券への投資配分については、基本配分比率を目処に投資を行います。また、実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行わない方針です。

●国内債券マザーファンド

米国の関税政策の影響を見極めつつ、中長期的には日銀による金融政策の正常化が進むことで、金利は緩やかに上昇すると見込みます。金利戦略は、修正デュレーションを機動的に操作し、残存期間別構成戦略は、利回り曲線上で割安と判断する年限を厚めに保有します。種別構成・個別銘柄戦略は、信用力が安定的で、且つ利回り面で妙味があると判断される銘柄の組み入れを検討する方針です。

●海外債券マザーファンド

米国では労働市場の減速を背景とした利下げに加え、パウエル議長の後任人事は利下げを求めるトランプ政権の意図が反映されやすいと想定するほか、関税収入や政府機関の縮小による財政改善も期待できることから、金利低下を見込みます。欧州ではドイツの債務ブレーキ改憲や防衛支出拡大、EUによる協調した国防強化による支出増大を見込むことや、すでに中立金利に到達したECBは様子見姿勢を続けると想定し、金利は緩やかな上昇を見込みます。

●エマージング債券マザーファンド

FRBによる利下げはクレジット市場を支援し、新興国の中央銀行に追加の緩和余地を与える可能性があります。多くの新興国では、財政収支の改善、底堅い商品価格、インフレの鈍化などの健全なファンダメンタルズが整っていると考えています。新興国債券市場は魅力的な水準にあり、相対的に価値の高い投資機会を選別的に探っていく方針です。

●国内株式マザーファンド

今後の国内株式市場は、米国の政策動向には留意が必要ですが、国内景況感改善を背景とした堅調な業績成長から緩やかな上昇基調が続くものと予想します。今作成期についても、中長期的に株主価値が高まっていく企業群で、且つバリュエーション面でも魅力が高いと見込まれる企業に選別投資していくことで、TOP 1 X対比での超過収益獲得に努めていきます。

●海外株式マザーファンド

外国株式市場は、景気・企業業績への不透明感や大規模なAI投資に対する懸念に加え、やや高めで推移するバリュエーションを背景に、短期的には上下のレンジを伴った横ばいで推移すると想定しております。運用方針としては、中長期的なファンダメンタルズの見通しが良好ながらも、短期的な業績の不透明感の高まりなどで割安感が強まった銘柄等に選別投資する方針です。株式組入比率は高位を維持します。為替ヘッジは行わない方針です。

●エマージング株式マザーファンド

持続可能な利益成長や配当支払いによる株主還元の見点から投資妙味が高いと判断される優良銘柄を厳選して投資する方針です。国別では、中国やブラジルなど、業種別では、テクノロジー・ハードウェアおよび機器、金融サービスなどの銘柄に注目していく方針です。

●国内リートマザーファンド

国内リート市場は、日米の経済指標の変化と日米金融政策の先行きに対する市場期待に影響される展開を想定しています。不動産ファンダメンタルズについては、オフィス等における既存物件の増収基調の変化などに注目しています。個別銘柄では、インフレを上回る内部成長等が注目される展開になると考えています。銘柄選択、ポートフォリオ構築に際し、保有資産の質や運用能力の調査・分析結果をベースに、分配金と資産価値の成長性等を考慮して実施していきます。

●海外リートマザーファンド

足元では、相互関税の影響が見通せない中で各国当局の金融政策にも不透明感が強まっています。一部の銘柄ではファンダメンタルズの悪化も見られるものの、多くのセクター・銘柄でファンダメンタルズの改善が見られ、2026年も収益改善が続く見通しです。米国では、小売施設銘柄など、欧州では英国の学生寮を手掛ける住宅銘柄など、アジア・オセアニア地域については、豪州の分散投資型銘柄などに注目して投資する方針です。

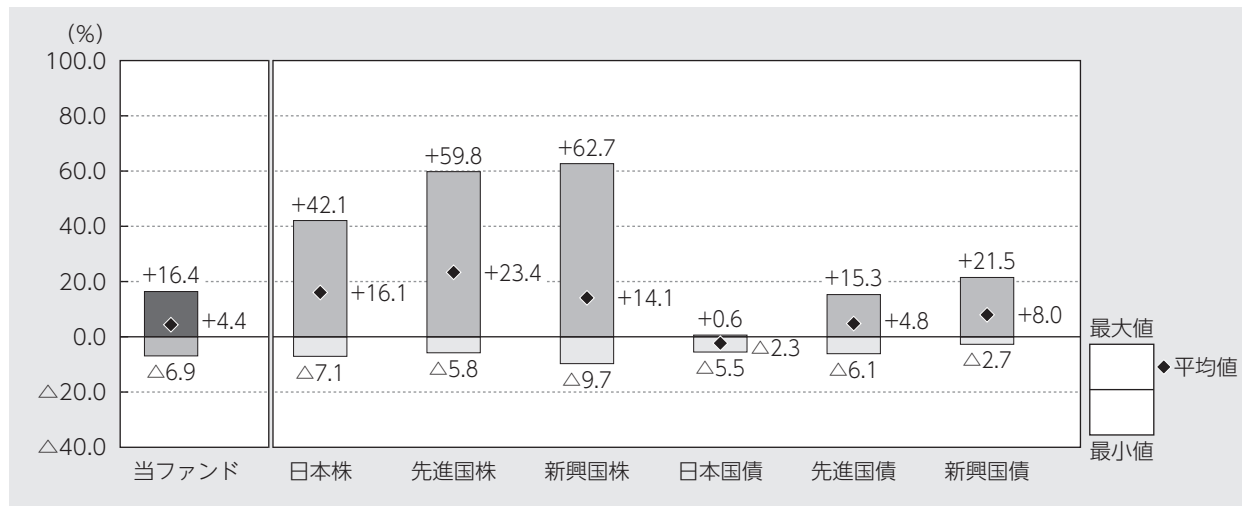
当ファンドの概要

■ 世界8資産ファンド [安定コース・分配コース・成長コース]

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間	2006年7月7日から無期限です。	
運 用 方 針	<p><安定コース> 世界の資産および地域（通貨）へ広く分散投資を行い、信託財産の安定的な成長を目指します。</p> <p><分配コース> 世界の資産および地域（通貨）へ広く分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指します。</p> <p><成長コース> 世界の資産および地域（通貨）へ広く分散投資を行い、信託財産の成長と安定した収益の確保を目指します。</p>	
主要投資対象	世界8資産ファンド	「国内債券マザーファンド」、「海外債券マザーファンド」、「エマージング債券マザーファンド」、「国内株式マザーファンド」、「海外株式マザーファンド」、「エマージング株式マザーファンド」、「国内リートマザーファンド」、「海外リートマザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	国内債券マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
	海外債券マザーファンド	日本を除く世界主要先進国の公社債を主要投資対象とします。
	エマージング債券マザーファンド	世界のエマージング諸国の公社債を主要投資対象とします。
	国内株式マザーファンド	わが国の株式を主要投資対象とします。
	海外株式マザーファンド	日本を除く世界主要先進国の株式を主要投資対象とします。
	エマージング株式マザーファンド	世界のエマージング諸国の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
	国内リートマザーファンド	わが国の不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	海外リートマザーファンド	日本を除く世界各国の不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リートおよび海外リートに分散投資を行い、安定的な投資成果を目指します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 エマージング債券マザーファンドの運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに、エマージング株式マザーファンドの運用指図に関する権限をオールスプリング・グローバル・インベストメンツ・エルエルシーに委託します。	
分 配 方 針	<p><安定コース> 毎年原則として5月8日および11月8日に決算を行い、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等の全額を分配対象として、基準価額の水準および市場動向等を勘案し、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p> <p><分配コース> 年12回（原則毎月8日）決算を行い、第3期以降、原則として安定した分配を継続的に行うことを目指し、利子・配当等収益等の水準、基準価額の水準および市場動向等を勘案し、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p> <p><成長コース> 毎年原則として5月8日および11月8日に決算を行い、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等の全額を分配対象として、基準価額の水準および市場動向等を勘案し、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p> <p>収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

■ 世界8資産ファンド 安定コース



2020年11月～2025年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

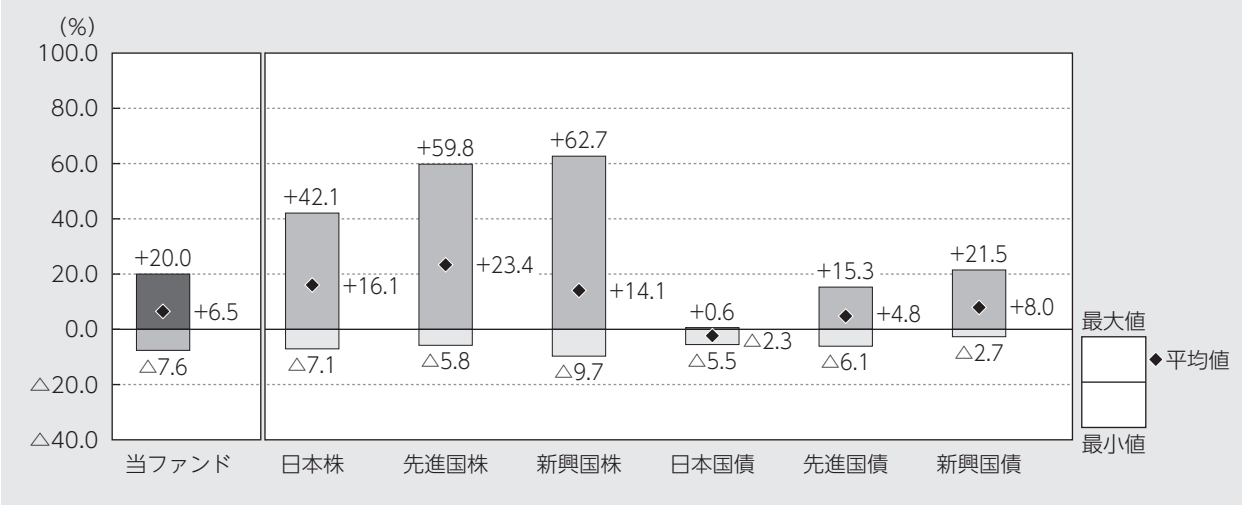
先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

世界8資産ファンド 分配コース



2020年11月～2025年10月

- (注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

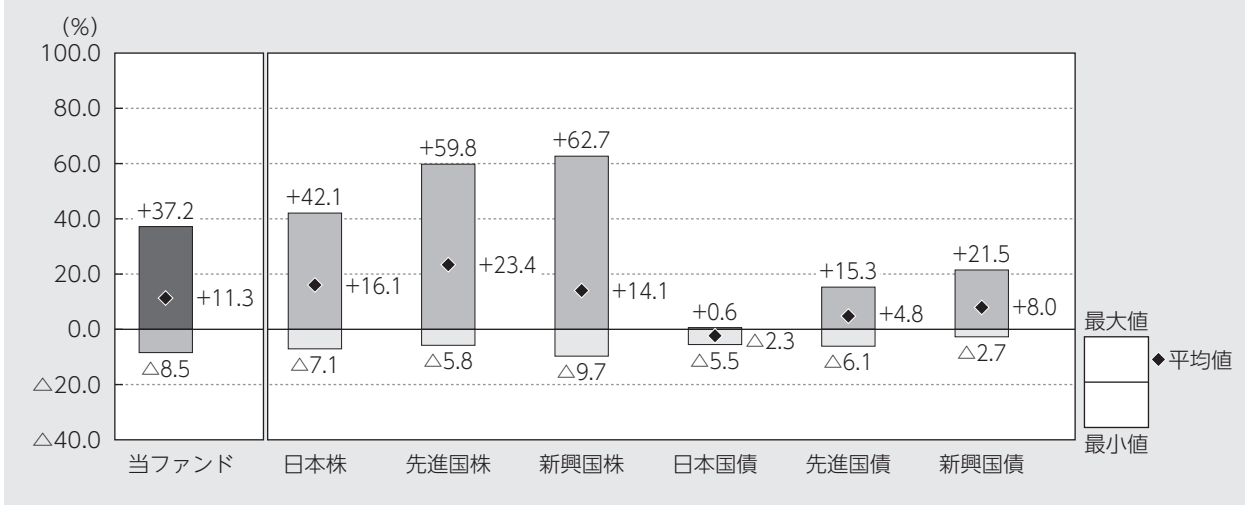
先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

■ 世界8資産ファンド 成長コース



2020年11月～2025年10月

- (注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

世界8資産ファンド 安定コース

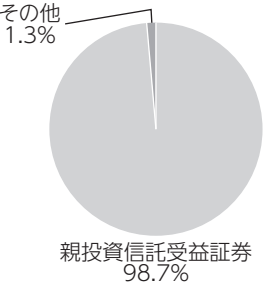
当ファンドの組入資産の内容（2025年11月10日現在）

◆組入ファンド等（組入ファンド数：8ファンド）

	当期末
	2025年11月10日
国内債券マザーファンド	37.6%
海外債券マザーファンド	15.1
エマージング債券マザーファンド	5.6
国内株式マザーファンド	10.1
海外株式マザーファンド	5.0
エマージング株式マザーファンド	5.0
国内リートマザーファンド	10.0
海外リートマザーファンド	10.2
その他	1.3

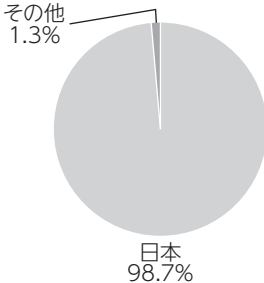
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆資産別配分

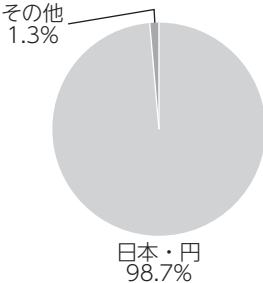


（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注2）現金等はその他として表示しています。

◆国別配分



◆通貨別配分



純資産等

項目	当期末
	2025年11月10日
純資産総額	2,902,898,642円
受益権総口数	2,058,618,823口
1万口当たり基準価額	14,101円

（注）当期中における追加設定元本額は32,141,470円、同解約元本額は126,574,797円です。

■ 世界8資産ファンド 分配コース

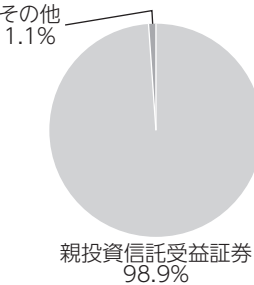
■ 当ファンドの組入資産の内容（2025年11月10日現在）

◆組入ファンド等 (組入ファンド数：8 ファンド)

	第232期末
	2025年11月10日
国内債券マザーファンド	17.8%
海外債券マザーファンド	30.0
エマージング債券マザーファンド	11.0
国内株式マザーファンド	5.0
海外株式マザーファンド	10.2
エマージング株式マザーファンド	4.9
国内リートマザーファンド	4.9
海外リートマザーファンド	15.2
その他	1.1

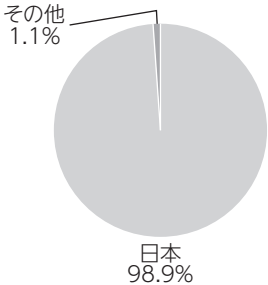
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆資産別配分

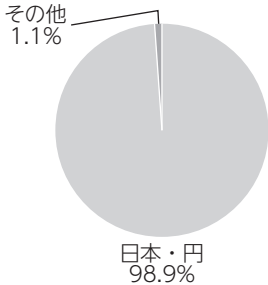


(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) 現金等はその他として表示しています。

◆国別配分



◆通貨別配分



■ 純資産等

項目	第227期末	第228期末	第229期末	第230期末	第231期末	第232期末
	2025年6月9日	2025年7月8日	2025年8月8日	2025年9月8日	2025年10月8日	2025年11月10日
純資産総額	15,318,553,847円	15,483,713,548円	15,637,107,890円	15,789,388,598円	16,048,123,727円	16,123,550,457円
受益権総口数	13,765,917,344口	13,703,571,847口	13,627,137,828口	13,582,551,338口	13,475,479,355口	13,363,716,727口
1万口当たり基準価額	11,128円	11,299円	11,475円	11,625円	11,909円	12,065円

(注) 当作成期間（第227期～第232期）中における追加設定元本額は27,661,409円、同解約元本額は484,771,666円です。

世界8資産ファンド 成長コース

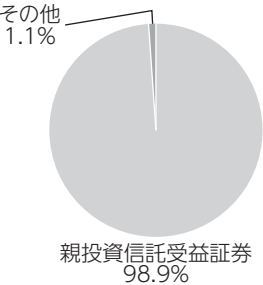
当ファンドの組入資産の内容（2025年11月10日現在）

◆組入ファンド等（組入ファンド数：8ファンド）

	当期末
	2025年11月10日
国内債券マザーファンド	4.2%
海外債券マザーファンド	4.5
エマージング債券マザーファンド	10.5
国内株式マザーファンド	35.9
海外株式マザーファンド	14.9
エマージング株式マザーファンド	9.9
国内リートマザーファンド	9.3
海外リートマザーファンド	9.6
その他	1.1

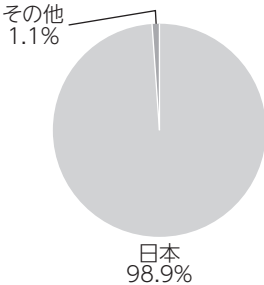
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆資産別配分

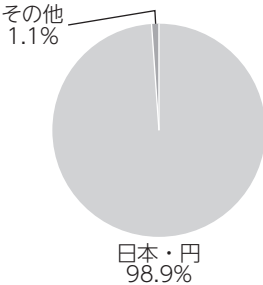


（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注2）現金等はその他として表示しています。

◆国別配分



◆通貨別配分



純資産等

項目	当期末
	2025年11月10日
純資産総額	5,516,743,670円
受益権総口数	2,878,064,544口
1万口当たり基準価額	19,168円

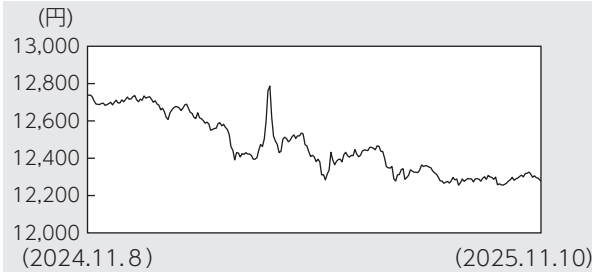
（注）当期中における追加設定元本額は34,548,885円、同解約元本額は96,119,178円です。

■ 世界8資産ファンド [安定コース・分配コース・成長コース]

■ 組入ファンドの概要

[国内債券マザーファンド] (計算期間 2024年11月9日～2025年11月10日)

◆ 基準価額の推移



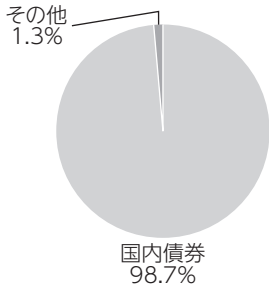
◆ 組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
369回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	7.4%
457回 利付国庫債券 (2年)	日本・円	6.5
461回 利付国庫債券 (2年)	日本・円	5.5
1335回 国庫短期証券	日本・円	3.9
172回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	2.6
168回 利付国庫債券 (20年)	日本・円	2.5
17回 利付国庫債券 (40年)	日本・円	2.4
26回 物価連動国債 (10年)	日本・円	2.4
152回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	2.3
191回 利付国庫債券 (20年)	日本・円	2.0
組入銘柄数	91銘柄	

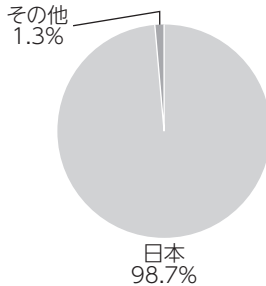
◆ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

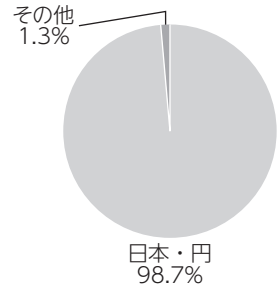
◆ 資産別配分



◆ 国別配分



◆ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

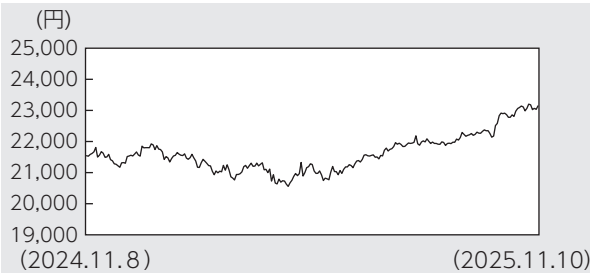
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[海外債券マザーファンド] (計算期間 2024年11月9日～2025年11月10日)

◆基準価額の推移



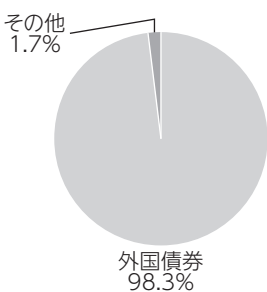
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
US T N/B 4.25 05/15/35	アメリカ・ドル	9.8%
US T N/B 3.75 04/15/28	アメリカ・ドル	9.2%
BUNDESSCHAT 2.0 12/10/26	ユーロ	7.2%
US T N/B 1.75 01/31/29	アメリカ・ドル	5.2%
US T N/B 4.125 11/15/32	アメリカ・ドル	4.7%
US T N/B 0.625 08/15/30	アメリカ・ドル	4.1%
FRANCE OAT 2.5 05/25/30	ユーロ	3.3%
US T N/B 1.625 05/15/31	アメリカ・ドル	3.1%
US T N/B 4.5 02/15/36	アメリカ・ドル	3.0%
US T N/B 4.125 03/31/31	アメリカ・ドル	2.7%
組入銘柄数	47銘柄	

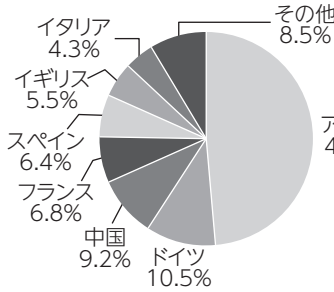
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	8円 (7) (1)	0.036% (0.034) (0.002)
合計	8	0.036
期中の平均基準価額は21,625円です。		

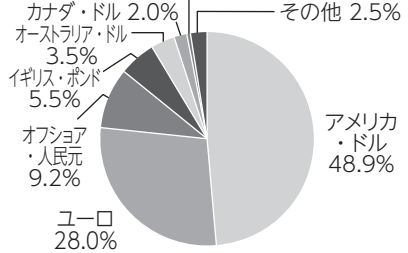
◆資産別配分



◆国別配分



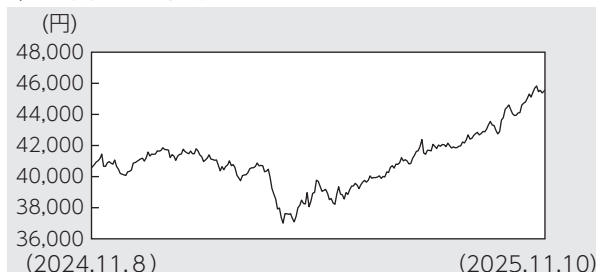
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。
- (注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注7) 現金等はその他として表示しています。
- (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[エマージング債券マザーファンド] (計算期間 2024年11月9日～2025年11月10日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
US T N/B 4.75 08/15/55	アメリカ・ドル	6.9%
US T N/B 4.75 05/15/55	アメリカ・ドル	3.7%
REPUBLIC OF ARGENTINA 07/09/35	アメリカ・ドル	2.1%
REPUBLIC OF PARAGUAY 5.4 03/30/50	アメリカ・ドル	1.7%
ARAB REPUBLIC OF EGYPT 8.5 01/31/47	アメリカ・ドル	1.7%
COSTA RICA GOVERNMENT 7.3 11/13/54	アメリカ・ドル	1.5%
US T N/B 4.25 08/15/35	アメリカ・ドル	1.4%
DOMINICAN REPUBLIC 4.875 09/23/32	アメリカ・ドル	1.2%
REPUBLIC OF GHANA 07/03/35	アメリカ・ドル	1.2%
REPUBLIC OF ECUADOR 07/31/40	アメリカ・ドル	1.2%
組入銘柄数	154銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

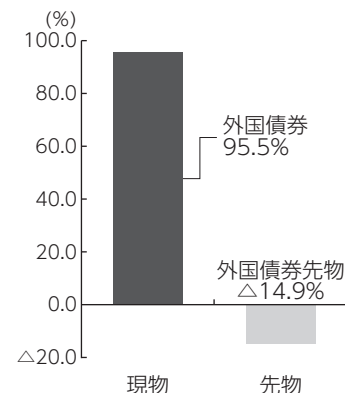
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	1円 (1)	0.001% (0.001)
(b) その他費用 (保管費用)	53 (52)	0.129 (0.127)
(その他)	(1)	(0.002)
合計	54	0.130

期中の平均基準価額は41,035円です。

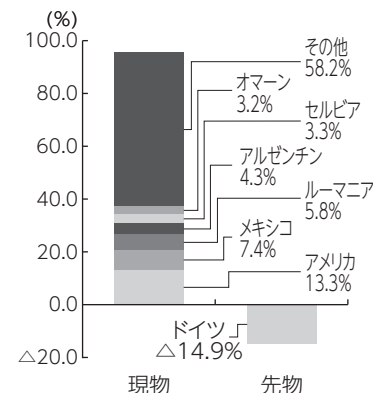
◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
EURO-BUND FUTURES	売建	7.7%
EURO-SCHATZ FUT	売建	4.1%
EURO-BOBL FUTURES	売建	3.2%
組入銘柄数	3銘柄	

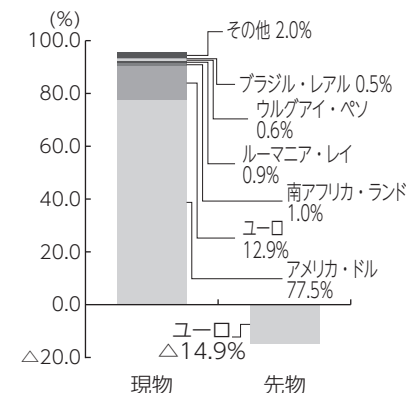
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

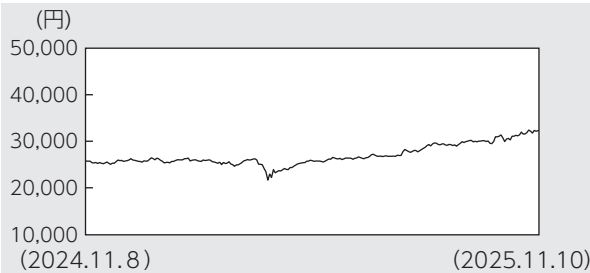
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 資産別配分、国別配分、通貨別配分の先物比率は、買建比率・売建比率です。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[国内株式マザーファンド] (計算期間 2024年11月9日～2025年11月10日)

◆基準価額の推移



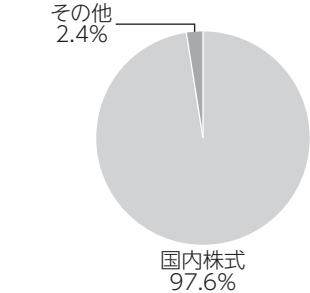
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
ソニーグループ	日本・円	4.8%
日立製作所	日本・円	3.7%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本・円	3.0%
トヨタ自動車	日本・円	3.0%
日本電気	日本・円	2.3%
三井住友フィナンシャルグループ	日本・円	2.1%
三井物産	日本・円	2.0%
鹿島建設	日本・円	1.9%
任天堂	日本・円	1.9%
三菱重工業	日本・円	1.9%
組入銘柄数	100銘柄	

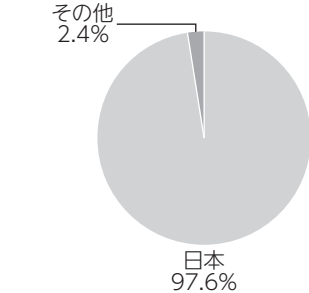
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	31円 (31)	0.115% (0.115)
合計	31	0.115
期中の平均基準価額は27,008円です。		

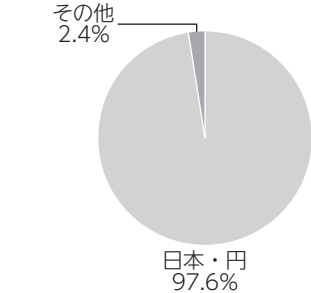
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

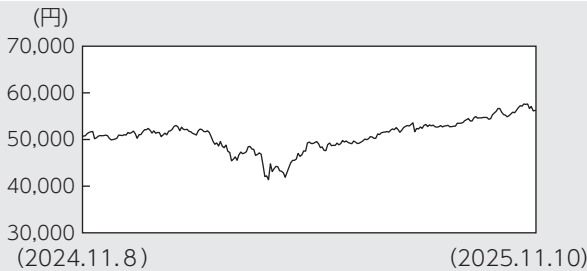
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【海外株式マザーファンド】（計算期間 2024年11月9日～2025年11月10日）

◆基準価額の推移



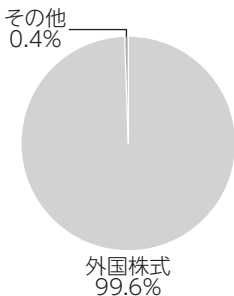
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	6.8%
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	5.5%
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	4.5%
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	4.1%
BROADCOM INC	アメリカ・ドル	3.5%
META PLATFORMS INC	アメリカ・ドル	3.1%
APPLE INC	アメリカ・ドル	3.1%
TJX COMPANIES INC	アメリカ・ドル	2.8%
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ・ドル	2.8%
MASTERCARD INC	アメリカ・ドル	2.5%
組入銘柄数	73銘柄	

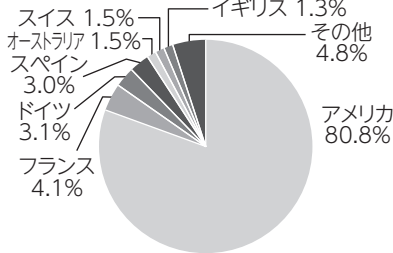
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	48円 (48)	0.094% (0.094)
(b) 有価証券取引税 (株式)	14 (14)	0.028 (0.028)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	34 (34) (0)	0.067 (0.067) (0.000)
合計	96	0.189
期中の平均基準価額は50,843円です。		

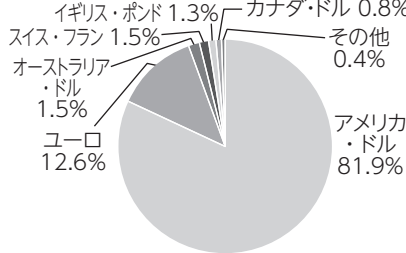
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

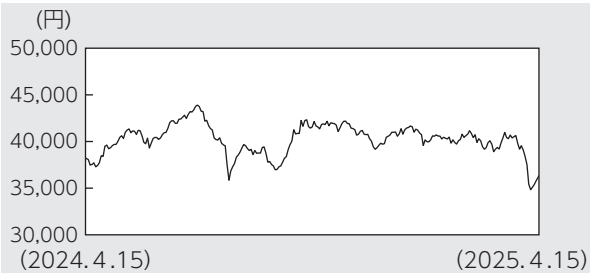
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[エマージング株式マザーファンド] (計算期間 2024年4月16日～2025年4月15日)

◆基準価額の推移



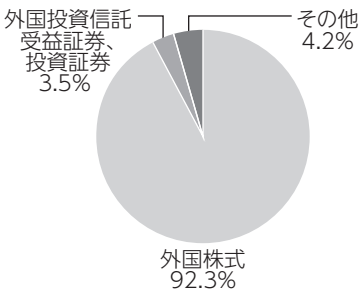
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾・ドル	7.2%
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	5.8
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	香港・ドル	4.5
MEDIATEK INC	台湾・ドル	2.7
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国・ウォン	2.5
NHPC LTD	インド・ルピー	2.1
EMBASSY OFFICE PARKS REIT	インド・ルピー	1.7
CHINA CONSTRUCTION BANK	香港・ドル	1.6
POWER GRID CORP OF INDIA LTD	インド・ルピー	1.5
SHRIRAM FINANCE LTD	インド・ルピー	1.5
組入銘柄数	102銘柄	

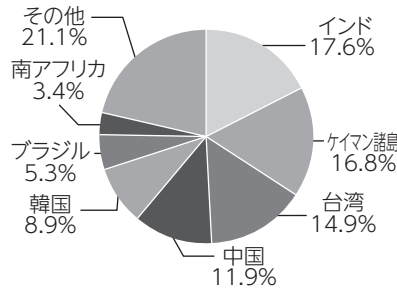
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	93円	0.231%
(株式)	(91)	(0.227)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(2)	(0.004)
(b) 有価証券取引税	55	0.136
(株式)	(54)	(0.134)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(1)	(0.002)
(c) その他費用	549	1.364
(その他)	(549)	(1.364)
合計	697	1.732
期中の平均基準価額は40,216円です。		

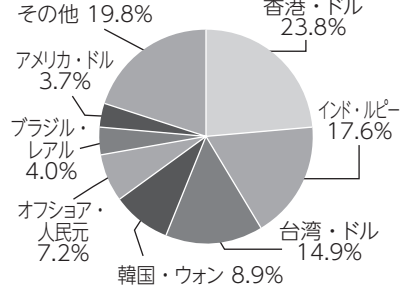
◆資産別配分



◆国別配分



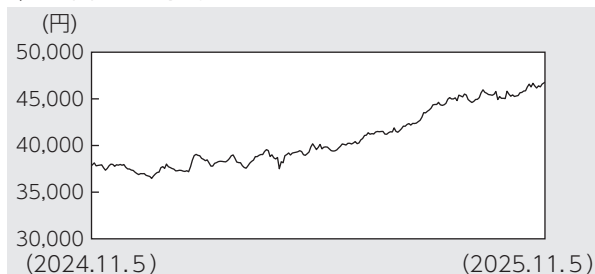
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄・資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。
- (注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注7) 現金等はその他として表示しています。
- (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【国内リートマザーファンド】（計算期間 2024年11月6日～2025年11月5日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

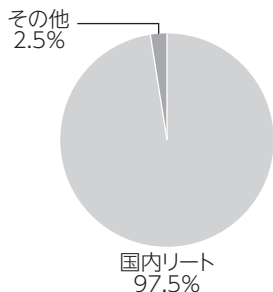
銘柄名	通貨	比率
KDX不動産投資法人	日本・円	10.0%
野村不動産マスターファンド投資法人	日本・円	9.2
日本都市ファンド投資法人	日本・円	8.0
GLP投資法人	日本・円	7.3
アドバンス・レジデンス投資法人	日本・円	6.0
ジャパンリアルエステイト投資法人	日本・円	5.7
大和証券オフィス投資法人	日本・円	4.3
日本ロジスティクスファンド投資法人	日本・円	3.7
ラサールロジポート投資法人	日本・円	3.4
日本プライムリアルティ投資法人	日本・円	3.3
組入銘柄数	48銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

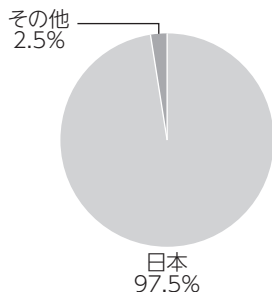
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	28円 (28)	0.070% (0.070)
合計	28	0.070

期中の平均基準価額は40,732円です。

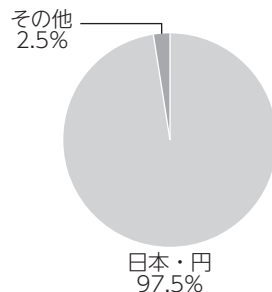
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

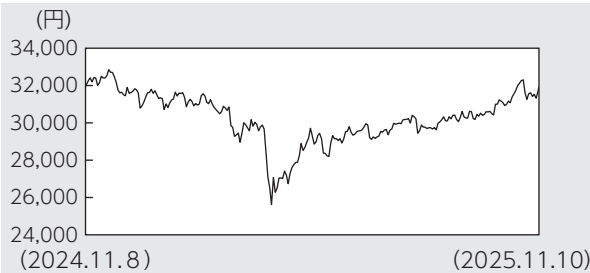
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[海外リートマザーファンド] (計算期間 2024年11月9日～2025年11月10日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

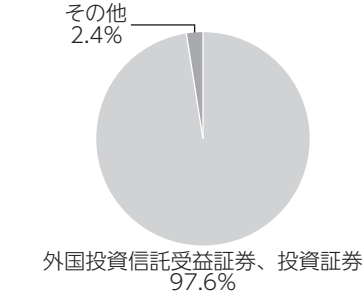
銘柄名	通貨	比率
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	9.6%
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	7.2
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	5.4
VICI PROPERTIES INC	アメリカ・ドル	3.9
GOODMAN GROUP	オーストラリア・ドル	3.5
REGENCY CENTERS CORP	アメリカ・ドル	3.5
AMERICAN HOMES 4 RENT	アメリカ・ドル	3.3
UDR INC	アメリカ・ドル	3.3
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	3.2
EXTRA SPACE STORAGE INC	アメリカ・ドル	3.1
組入銘柄数	55銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

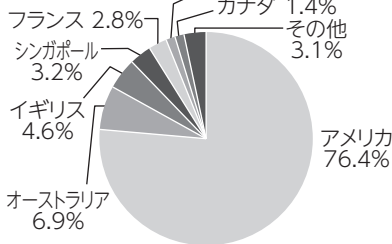
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	66円 (6) (60)	0.218% (0.020) (0.198)
(b) 有価証券取引税 (投資信託受益証券) (投資証券)	8 (1) (7)	0.026 (0.003) (0.023)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	42 (41) (1)	0.140 (0.136) (0.005)
合計	116	0.385

期中の平均基準価額は30,258円です。

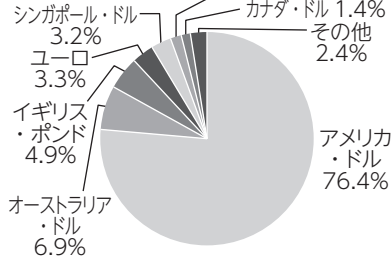
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<当ファンドが組み入れているマザーファンドのベンチマークについて>

●NOMURA-BPI 総合

NOMURA-BPI 総合の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

「FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

「JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバースファイド（円ベース）」は、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバースファイド（米国ドルベース）をもとに、委託会社が独自に円換算して計算したものです。JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバースファイド（米国ドルベース）に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

●TOPIX（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

●MSCI-KOKUSAI 指数（グロス配当再投資込み、円ベース・為替ヘッジなし）

「MSCI-KOKUSAI 指数（グロス配当再投資込み、円ベース・為替ヘッジなし）」は、MSCI-KOKUSAI 指数（グロス配当再投資込み、米国ドルベース）をもとに、委託会社が独自に円換算して計算したものです。MSCI-KOKUSAI 指数（グロス配当再投資込み、米国ドルベース）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

「MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）」は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米国ドルベース）をもとに、委託会社が独自に円換算して計算したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米国ドルベース）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●東証REIT指数（配当込み）

東証REIT指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

●S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）

「S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）」は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

●「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。

●「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

●「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

